

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 紀文西日本		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目15番27号	
本票作成	部署名： 生産効率保全課				
主たる業種	分類コード	09	業種名： 食料品製造業		
事業の概要	水産練製品				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山総社工場		岡山県総社市井尻野700番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量		目標年度(令和 6 年度)	
	12,685 t CO ₂	12,410 t CO ₂		12,431 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 6)年度排出量	
	①	岡山総社工場		12,410 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 2.5 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量		原単位当たり排出量		
			基準年度	(6) 年度	目標年度
			0.896	0.918	0.879
			t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)	t CO ₂ /(t)
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
原単位の基になる生産重量は前年度と比較して約3%ほど減少しています。それに対して電気の使用量は0.5%減、詳細は昼間で1.2%増、夜間で4%減となっています。。通常で生産重量が減った場合生産時間自体は短くなるがそれは夜間の使用量が下がるだけのため昼間では電気の使用量に反映されません、そんな中7月から9月の時期において外気温度が30度以上の日数が24日以上もある中で遮光カーテンや散水が効果を発揮したと考えています。LNGの使用量は前期と同様の使用量となり悪化の要因となっています。設備トラブル抑制のため予防保全を行っています。人材不足(定年退職者等)で行える範囲が少なくなったの要因と考えています。					

【推進体制】

日々のエネルギー使用量の確認を行い、各生産ラインごとの電気、ガスの使用量を計画対比で確認し使用量から、使い方、設備異常など見つけ出し対策を行っている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山総社工場	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室外機への散水装置維持管理 ・ 室外機への遮光カーテン維持管理 <p>ただし、新規入れ機種に関しては散水NG（メーカー指定）のため遮光カーテンのみ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化 ・ 生産設備トラブル削減（生産設備のトラブルによる無駄な電力・ガス使用量を抑える） <p>トラブル時間削減のため、定期メンテナンスなどの予防保全の実施。 前期と比較してトラブル時間約3.3%増加で無駄な使用量により削減ではなく485tCo2増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 包装フィルムへの賞味期限等の印字方式をリボン方式からレーザー印字方式の変更、（3ライン設置の実施、4ライン/22ライン） <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室外機への散水装置維持管理（6月頃） ・ 室外機への遮光カーテン維持管理（6月頃） ・ 老朽化設備の入替、メンテナンスによる効率化 ・ 生産設備トラブル削減（生産設備のトラブルによる無駄な電力・ガス使用量を抑える）（毎週） ・ 包装フィルムへの賞味期限等の印字方式をリボン方式からレーザー印字方式の変更、それに伴いリボン使用量削減で約1.2 t Co2削減見込み（2ライン設置予定） ・ 蛍光灯からLED照明への変更（約500tCo2削減見込み）設置個所が多いため複数年で実施予定

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】